

「4号特例廃止」への備え、チェックリスト

□4号特例の廃止に関連する最新の法令や規制の変更点を確認し、理解する。 国土交通省https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/r4kaisei_kijunhou0001.html
□建築基準法において変更されたポイントや新たに適用される基準を確認し、 理解する。
□建築の設計段階で、新しい法的要件に適合するための対応策を検討し、設 計変更が必要であれば計画する。
□建築許可の手続きが変更される可能性があるため、新しい手続きを理解し、 必要な書類や情報を整える。
□新しい法的要件に従うために必要な手続きや審査の時間を考慮し、プロ ジェクトスケジュールを再設定する。
□ 4号特例が廃止されることでコストが増加する可能性があるため、プロジェクトの予算を再調整し、必要な予算調整を行う。
□地方自治体、関連業者、建築士などと密接なコミュニケーションを取り、 変更に対するアドバイスやサポートを得る。
□建築法規制の変更に関する法的アドバイスを取得し、法的なリスクや対応 策を確認する。
□設計を初めとした社内業務のオペレーションを見直し、ルールの再整備、 標準化を行う。
□性能計算に関わる業務を、CADシステムを活用した自動化を図る。
□CADオペレーションなどの設計業務の作業をアウトソーシングし、人員不足に対応する。
□チーム全体に新しい法的要件や手続きに関する教育やトレーニングを提供し、理解度を確認する。

自社調べのため、詳細は国土交通省のWEBサイトをご確認ください。



生産性向上の第一歩は、 生産プロセスの起点となる"設計業務の合理化"から

環境変化への対応・人手不足への対応

課題①

2024年 時間外労働の上限規制

課題②

2025年 4号特例廃止・省エネ基準適合義務化

他にも、業務環境の整備 , 若手社員の教育 , 新しい商品の企画 , 新規事業の取組・・・・・

||||| 求められることは増える一方^{|||||}

成長ビルダー経営層のお悩み

売上は伸びたが利益が残らない...

『利益の流出』が 起きてませんか?



設計部門のお悩み

次々とやることが増えて残業...

『業務過多』が 起きてませんか?



一般的な解決策は?

中途採用により社員を増やすこと?

- ・採用コストの増大
- ・教育に関わるコストと手間
- ・市況縮小局面でのリスク

外注先を増やすこと?

- ・外注先の高齢化
- ・分散化した外注先の管理(品質管理・納期管理)
- ・整合性チェックの手間

今までのやり方は既に限界ではないでしょうか?





「利益の流出」と「生産性が上がらず業務過多」になる原因

業務プロセスに『ムラ』と『ムダ』がありませんか?

ムラ・ムダの例

①設計工程のムラが後工程(積算・施工)に影響

ムダの発生→実行予算と実際の原価のズレ

過剰な発注・手戻り・施工ミス・手待ち・余剰材の処分費

②社内業務の標準オペレーションが欠如(ムラ)

ムダの発生➤人件費が高すぎる

部署内での個人商店化.支店ごとの別会社化

いま取り組むべきは・・・

STEP1

標準化

STEP2

システム化

STEP3 アウトソー シング

- ・図面の標準化(作図ルールの整備・標準収まり図)
- ・作業の標準化(マニュアル作成)
- ・業務連携の標準化(業務フローの整備)
- · C A D の機能活用による"作業"の自動化
 - ▶作図・法規チェック・省エネ検討・構造検討
- · C A D連携による重複業務の削減
 - ➤プレゼンCADと意匠CADの連携など
- ・作図-性能計算-申請-積算までを一気通貫で委託
- ・委託先とCADデータの連携によりチェック手間の削減



理想はそうだけど...ハードルが高くてなかなか進まない...



マンパワーに依存しない合理的な業務体制の構築 NOHARAがサポート致します!

設計業務合理化のプロによるコンサルティングサービス

あらゆる仕様を標準化

STEP1

標進化

- モジュールの統一
- 各階の階高の統一
- 図枠の統一
- 外部建具(リスト化)
- ■内部建具
- 設備関係の標準化
- 外装仕上材の種類
- 内装仕上材の種類



STEP2 システム化

CADマスタ登録



あらゆる作業の合理化&自動化

- ●書き込む文字もマスタ部品化して登録➤スピード・品質向上
- ●作図オペレーションに配慮したマスタ設計

作図ー法規チェックー省エネ検討ー構造検討ー積算の全てを 一つのCADで完結させ、業務の合理化を図ります。

更にCAD入力マニュアルの作成,操作研修会の開催により システム導入までをサポートします。



作図・積算BPOサービス

計画的に拡張可能な海外リソース活用 &ArchitrendZeroをフル活用

持続可能なONE STOPの請負サービスを提供します



□図面作成業務 □性能計算業務

- ■基本図面
 - ■外皮計算,一次エネ計算
- ■確認申請図面 ■壁量計算・N値計算
- ■横架材・基礎の許容応力度計算
- ·平面詳細図 ■各種伏図作成
- ·雷気図 ・設備図



・数量算出システム「**ぴったりでき太」**



コスト抑制



コンピュータープログラムにより 必要最低限の数量算出が可能です。 割付図により積算根拠も明確です。

現場廃材削除



必要な資材しか納品しませんので 未使用材の廃棄が無くなります。

品質確保



施工基準に則した割付が可能です。 割付図を参考に施工することで 品質の担保が可能となります。

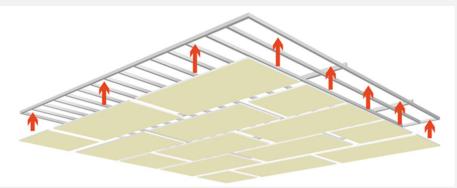
最終的には、施工分野の合理化へ・・・



工期短縮・現場廃材の削減を実現する『天井施工ソリューション』

天井施工ソリューション

プレカット鋼製野縁材 + プレカット天井ボード



プレカット導入による 削減効果

施工時間 **▲50**%

現場廃棄物 **490**%

お気軽にご相談ください!



野原グループ株式会社 住環境カンパニー

住所 東京都新宿区新宿1-1-11

WEB https://jukankyo.nohara-inc.co.jp/ お問合せ先 弊社WEBサイトの お問合せフォームから

